



峰高だより



発行：京都府立峰山高等学校広報担当 所在地：京都府京丹後市峰山町古殿 1185 番地
Tel:0772-62-1012 Fax:0772-62-1013 www.kyoto-be.ne.jp/mineyama-hs/

入学式

春のやわらかな日差しに包まれながら、4月9日（木）、平成27年度入学式が行われました。新入生261名（本校240名、分校21名）が入学許可を受け、希望を胸に高校生活の第一歩を踏み出しました。

校長は式辞で、「あらゆる活動を通して、積極的・自主的に学ぶ姿勢を持つこと、感謝の気持ちを忘れずにこれからの3年間を送ってほしい」と述べました。

新入生宣誓では、森恵美さん（久美浜中出身）が、「学校の規則をしっかりと守り、誇りある峰山高等学校の生徒として、その本分を尽くすことを誓います」と決意をのべました。また、新入生歓迎のことは、生徒会長の安田瀬里奈さん（大宮中出身）が、「学校生活を充実させるために、一人ひとりが誇りを持ち、当たり前のことが当たり前に行えるようにして、笑顔あふれる高校生活を一緒に楽しみましょう」と述べました。



教育方針

《教育スローガン（校是）》

「求めてやまじ 高き理想を！」

《教育方針》

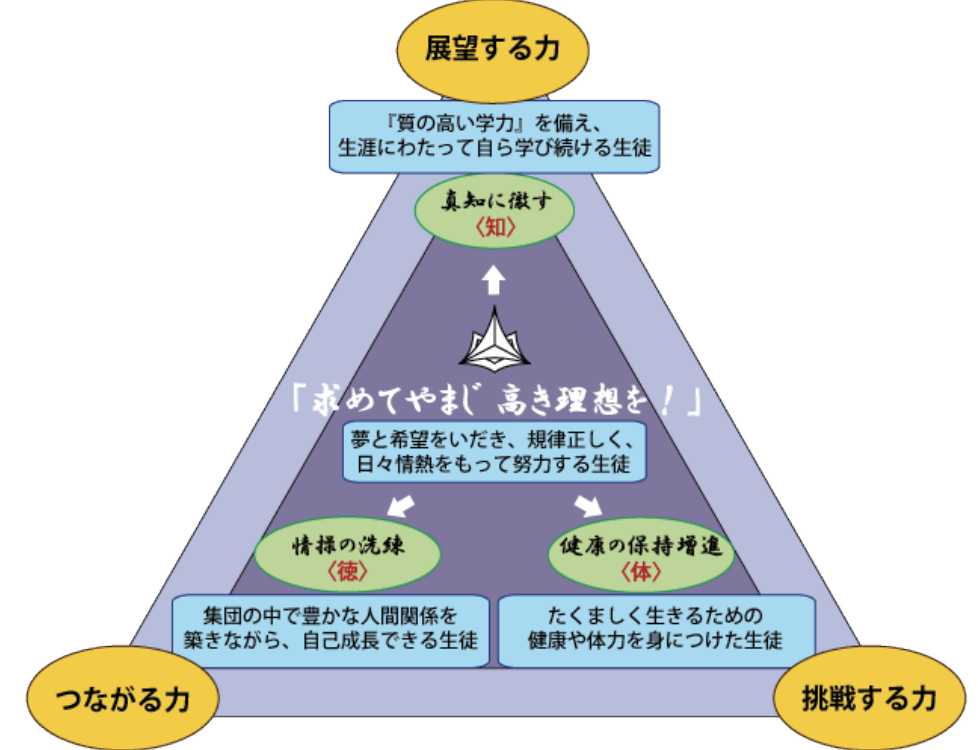
- 真知に徹す 〈真理を尊び、その探究に徹する態度の育成を目指す〉
- 情操の洗練 〈情操の涵養に留意し、円満な人格の完成を目指す〉
- 健康の保持増進 〈保健と鍛錬に努め、心身ともに健やかな人間の育成を目指す〉

《教育目標》

心身ともに健康で、礼儀と規律を重んじ、人を思いやり、郷土を愛するとともに、高い志と柔軟な国際感覚をもって自己を高め、創造力豊かに社会に貢献できる人間を育てる。

《目指す生徒像》

- ◇ 夢と希望をいだき、規律正しく、日々情熱をもって努力する生徒
- ◇ 「質の高い学力」を備え、生涯にわたって自ら学び続ける生徒
- ◇ 集団の中で豊かな人間関係を築きながら、自己成長できる生徒
- ◇ たくましく生きるための健康や体力を身につけた生徒



※外側の三角形は京都府の府旗（赤紫色）、内側の三角形は峰山高校の校旗（紺色）をイメージしています。

新入生の抱負

『学習』について

- 産業工学科なので、色々な資格が取得できるように今まで以上に頑張っていきたいです。機械では、色々な部品などもしっかり覚えられるよう努力したいです。なので、授業で勉強をしたところは復習をしていきたいです。（産業工学科・男子）
- 高校になると、授業のスピードは早いし、受験は3年間の積み重ねが大切になってくると思います。高校では、自主学習、特にその日の授業の復習を頑張りたいと思います。また、座学だけでなく、実技科目にも力を入れ、今後の生活に役立つような技術を身に付けたいです。（普通科・女子）

『高校卒業後の目標（夢）』について

- 現在、確定していることは大学への進学で、どの分野で勉強するかを見つけたいです。今は「モノを創る」ということです。近年、色々と新しいモノが生み出されています。電気自動車やスマートフォン、iPS細胞などのような“創る”ことがしたいです。（普通科・男子）
- 私は将来、デザイナーかスタイリストになりたいです。そのために、本格的にデザインの勉強ができる学校に進学したいです。私は、明確な目標があるので、それに向かってひたすら進み続けたいです。自分の夢に近づけるように最後までやりきって卒業がしたいです。（産業工学科・女子）

『高校生活で一番やりたいこと』について

- 私が一番やりたいことは、友達をたくさん作ることです。一度しかない高校生活をめいっぱい楽しみたいです。そして、将来の夢のために勉強を頑張りたいです。（普通科・女子）
- 様々な行事、部活、日常生活を通して最高の思い出を作りたいです。今は、楽しみというより不安の方が大きいですが、たくさん友達を作りたいです。勉強もとても大事ですが、卒業する時に思い出がないのは悲しいので、3年間の中で新しい仲間と共にたくさんの思い出を作り、笑顔で卒業ができるようにしたいです。（普通科・女子）

『部活動』について

●中学校でバスケットボールをしていたので、高校でも続けようと思います。周りのレベルも上がるだろうし、練習量も多くなると思います。でも、中途半端な気持ちでやりたくありません。一番の目標としては部活動と勉強の両立なので、そこは大事にしたいです。（普通科・男子）



アカデミックミネ特別授業～東日本大震災から4年～

3月13日（金）の午後に224教室を会場に特別授業を実施しました。3.11の二日後のこの日に、学校内外のいろいろな人から東日本大震災に関わるお話を聞き、被災地に思いを馳せながら震災について学び考えようという授業です。第一回目を2012年3月12日に実施してから毎年開催し今年で4回目。京都大学と兵庫県立大学の先生にそれぞれ講演をしていただき、そして校内の先生と生徒による被災地に関わるお話を聞きました。授業の休憩時間として約30分のティータイムを設け、陸前高田市の被災したお店から取り寄せたお菓子を味わいながら、実験コーナーで実験を楽しんだり、写真の展示や被災地の地図を見たりと、参加した生徒と先生が和やかな雰囲気です有意義な時間を過ごすことができました。

合格体験談を聞く会

3月20日（金）に、「合格体験談を聞く会」を行いました。この春卒業し、国公立大学に進学予定の4名が、勉強と部活動の両立や勉強方法、それぞれの大学を選んだきっかけなど自分自身が体験したことを失敗談も交えながら後輩に語ってくれました。在校生は真剣な眼差しで先輩の話聞いていました。進路実現に向けて頑張ってくれることを期待します。



新入生歓迎会

4月13日（月）新入生歓迎クラブ紹介を行いました。各クラブ員が自分たちのクラブがどのような活動をしているのかを分かり易く、個性豊かな発表を交えながら、会場を盛り上げていました。新入生は先輩の発表に対して、拍手を贈っていました。新入生はその後、約一週間、クラブ見学・体験入部を行いました。



メッセージリレー

皆さんは、ラオスという国を知っていますか？ラオスはタイのお隣、アジアの中では最貧と言われる国です。私は学生時代にこの国を訪れ、現地の語学学校や大学の学生たちと交流しました。ラオスの主要言語はラオ語。英語が母国語でない彼らですが、日本から来た私たちよりもはるかに上手に英語を使い、ここぞとばかりに私たちと交流を図ろうとしてくれました。キラキラとした純粋な目でたくさん話しかけてくれたことを覚えています。

私は学生時代、「勉強って何のためにするのだろうか」としよっっちゃう悩みました。でも、ラオスを訪れた時、今の自分の状況を変えたいと奮闘する彼らを見て、日本で当たり前に行っている環境のありがたさにやっと気が付きました。

皆さんは進路を迷うこともあるかもしれませんが、迷うことができるのも色々な勉強を積み重ねることができているからこそ。今はがむしゃらに勉強してみてください。そうすれば、自分の道は見つかります。そして、どんな道を選んでもそれが自分の人生、全てが正解です。迷うことも楽しみながら、高校生活を満喫してください！

| | | |
|---|--|---|
|  <p>講演① 上田義勝先生（京都大学） 『福島での復興支援研究（除染や農業支援）』</p> |  <p>講演② 松原典孝先生（兵庫県立大学） 『山陰海岸沖のプレートにおける直下型地震遺産』</p> |  <p>中井あい先生 （本校家庭科教諭） 『命を守る家庭科～被災地訪問を通じて～』</p> |
|  <p>柴田 鼓さん（3年生） 『“ふくしま・子どもキャンプ”に参加して』</p> |  <p>本校生徒会執行部 『陸前高田市図書館ゆめプロジェクト』</p> |  <p>山川哲先生の実験コーナー 放射線を霧箱で見る、線量計で測る</p> |
|  <p>松原先生の実験コーナー 液状化実験装置でみる地震による建物被害</p> |  <p>松原先生の実験コーナー 日本列島と日本海の形成のモデル実験</p> |  <p>地図の展示コーナー 鳥取、北但馬、北丹後の地震の被災地がわかります</p> |